

特別展示「ファーブルにまなぶ」を開催
 ●「ひとはく恐竜ラボ」がオープン [13]

2009

●岩槻邦男館長が瑞宝重光章を受章
 ●加東市と協力協定を締結 [14]



[13]

●佐用町昆虫館と連携協定を締結、洪水被害を受けた同館への支援活動を開始 [15]



[14]

●兵庫県産維管束植物目録が完成

2010

●COP10 生物多様性交流フェアに出展
 ●「ひょうごのいきもの・ふるさとを見守るなかま」発行
 ●篠山層群における恐竜・哺乳類化石等に関する基本協定を締結
 ●「いきものかわらばん」を開始



[15]

2011

●キッズひとはく推進室が発足、「キッズキャラバン」を開始 [16]
 ●地域展開推進室が発足、「ジオキャラバン」を開始
 ●兵庫県立丹波並木道中央公園で小型恐竜の化石を発見
 ●「生物多様性協働フォーラム」を開始
 ●東日本大震災「被災地支援キャラバン」2011を実施 [17]
 ●津波によって被災した学術標本のレスキュー活動を実施



[16]



[17]

2012

●開館20周年記念行事開催、秋篠宮殿下がお成り
 ●移動博物館車「ゆめはく」が始動 [18] [19]
 ●魅せる収蔵庫トライアル「ひとはく多様性フロア」がオープン
 ●「ひょうご恐竜化石国際シンポジウム」を開催

●「教員のための博物館の日 in ひとはく」を開催
 ●伊丹市教育委員会と協力協定を締結
 ●頌栄短期大学から約25万点の植物標本を受贈
 ●兵庫県立大学自然・環境科学研究所20周年記念シンポジウムを開催
 ●総利用者数が300万人を突破



[18]



[19]

2013

●関西広域連合生物多様性保全施策の策定に幹事館として参画

2014

●丹波竜を新属新種タンパティタニス・アミキティアエとして命名記載
 ●「小さな学校キャラバン」を開始 [20]
 ●コミュニケーションデザイン研究ユニット始動
 ●「ひとはく20年のあゆみ」を公表
 ●ひとはくサロンをリニューアル
 ●「人と自然の会」設立20周年



[20]

2015

●丹波竜発掘現場脇から小型の卵化石を発見
 ●羽田義任氏コレクション受贈 [21]
 ●常設展に新展示「ひょうごの岩石と鉱物」がオープン



[21]

2016

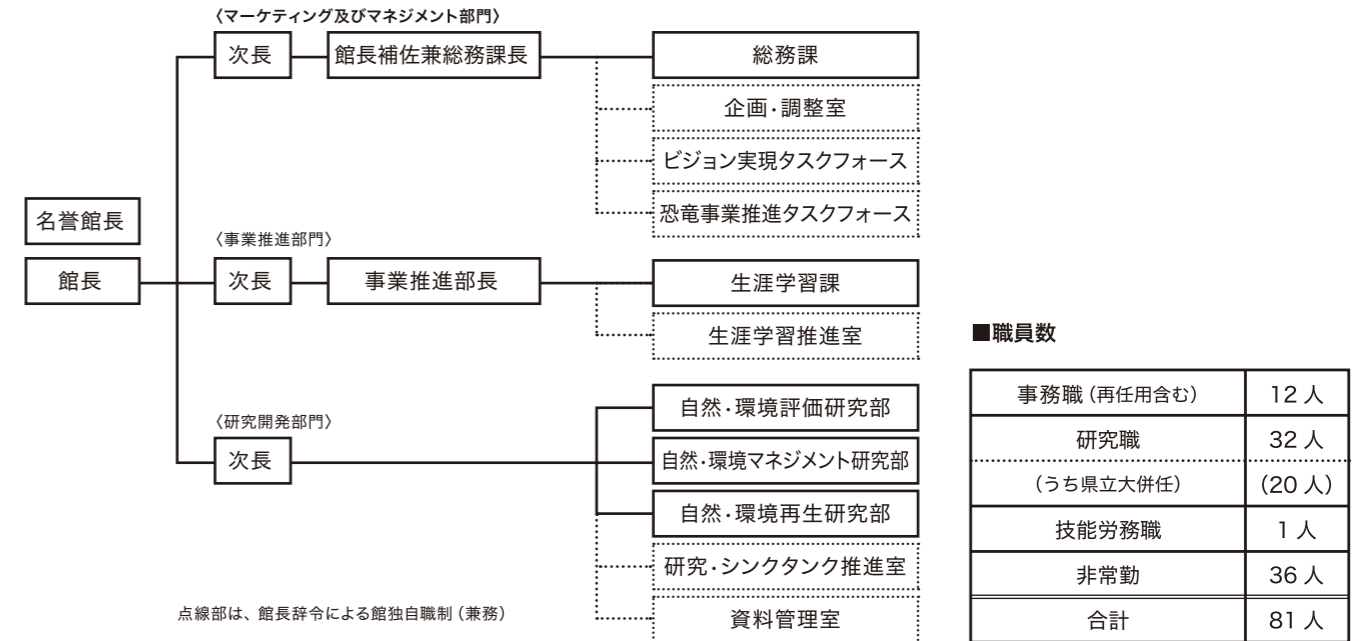
●ファーブル没後100年記念事業を実施
 ●岩槻邦男名誉館長がコスモス国際賞を受賞
 ●「博物館ネットワークによる未来へのレガシー継承・発信事業」を実施 [22]
 ●「高校生のための生き物調査体験ツアー in 台湾」を実施 [22]
 ●「三田市有馬富士自然学習センター・プログラム運営事業」を開始



[22]

組織体制・施設概要・予算額 (2017年6月末現在)

組織体制・職員数



施設規模・構造等

■施設規模

敷地面積：40,258㎡ (県企業庁 7,916㎡ + 三田市 32,342㎡)
 建築面積：7,289㎡
 延床面積：18,951㎡

■建物構造

本館：鉄骨・地上4階 (外観設計：丹下健三)
 エントランスホール：鉄筋コンクリート
 研究・収蔵棟：鉄筋コンクリート・地上3階
 ジーンファーム：軽量鉄骨
 ひとはく恐竜ラボ：鉄骨平屋

■建設費

施設：5,758百万円 その他：180百万円

■展示室等面積

展示関係	4,124㎡
教育普及関係	1,324㎡
収蔵関係	2,966㎡
研究関係	2,105㎡
管理関係	349㎡
共用部分	8,083㎡
合計	18,951㎡

予算額*の推移

